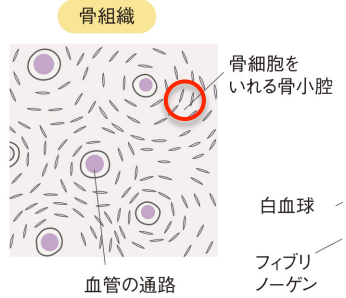
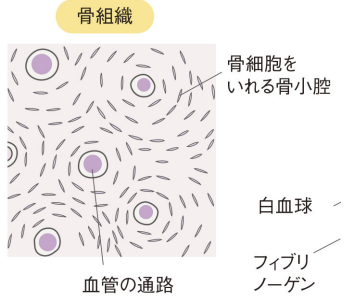


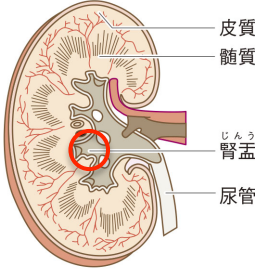
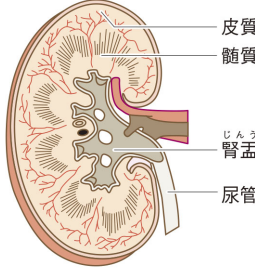
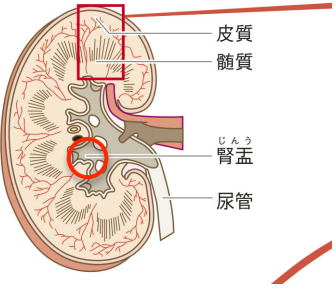
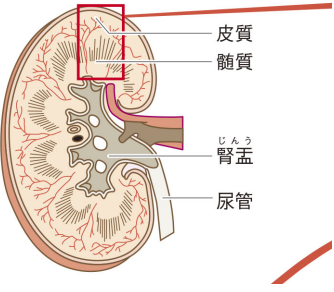
正誤表・更新情報

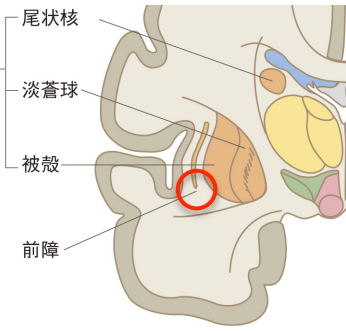
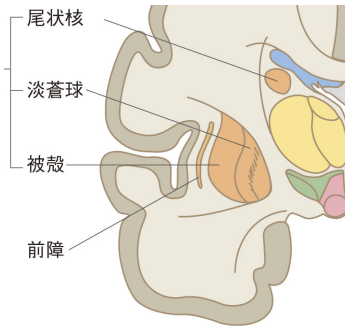
本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2019年1月22日）

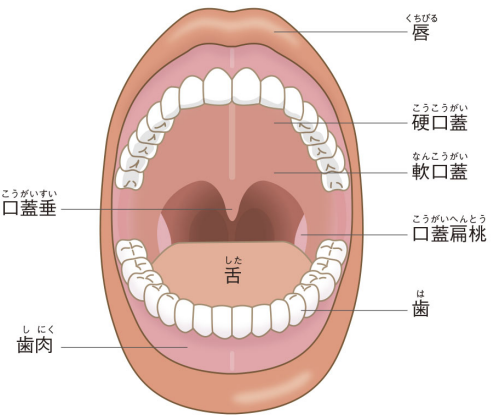
■第2版 第5刷（2018年2月20日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758108768_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章					
37	左段上から13行目	微 絨 毛	微 絨 毛		18/04/12
38	左段下から3行目	肋軟骨関節表面を覆う	肋軟骨、 上 関節表面を覆う	カンマを追加	18/04/12
38	右段上から6行目	カルシウムの99%は	体内 のカルシウムの99%は		18/04/12
39	図11 骨組織			骨小腔をさす線の位置を訂正いたします	18/08/17
39	右段下から1行目	細長い筋線維に	細長い筋 原 線維に		18/04/12
41	左段上から13行目	長いものは 数10cm に達する。	長いものは 1m に達する。		18/04/12
42	左段下から11行目	交接器の 腔	交接器の 腔		18/04/12
第2章					
45	Point1の2行目	胃・小腸・大腸 および胆嚢	胃・小腸・大腸	赤字部分を削除	18/04/12
46	左段上から4行目	胃・小腸・大腸 および胆嚢	胃・小腸・大腸	赤字部分を削除	18/04/12
46	図2			※1を参照	18/04/12
50	左段上から4行目	○咽頭扁桃（ 一般に アデノイドという）	○咽頭扁桃（ 咽頭扁桃の腫れたものをアデノイドという ）		18/04/12
56	左段下から10行目	リパーゼは、舌、胃からも	リパーゼは、舌、 膵 、胃、 膵 からも		18/04/12
60	右段上から1行目	ペプ チン	ペプ シン		18/07/11
65	左段上から1行目	伴うものまでである。	伴うものまでである。 閉塞性黄疸の原因となる。		18/04/12
65	右段上から2行目	閉塞性黄疸の原因となる。		赤字部分を削除	18/04/12
第3章					
72	左段上から7行目	脾臓などの 細網内皮細胞 に	脾臓などの マクロファージ に		18/04/12
76	図11	細網内皮系細胞 （脾臓など）	マクロファージ （脾臓など）		18/08/17
76	左段上から5行目	脾臓などの 細網内皮系細胞 に取り込まれ	脾臓などの マクロファージ に取り込まれ		18/08/17
77	左段下から2行目	サブレッサーT細胞 などになる。	制御性T細胞 などになる。		18/04/12
第4章					
87	左段下から8行目	心筋は 横紋筋 であるが、 骨格筋と異なり 、個々の細胞	心筋は 横紋筋 であるが、個々の細胞	赤字部分を削除	18/04/12
87	左段下から6行目	細胞膜には 境界板（ギャップ結合） がみられ、	細胞膜には 介在板 がみられ、		18/04/12
89	右段下から6行目	胸部単極肢誘導 が行える。	単極胸部誘導 が行える。		18/04/12
95	図12 図説明下から3行目	大動脈小体、大動脈 洞 の圧受容器からの情報は、	大動脈小体、大動脈 弓 の圧受容器からの情報は、		18/04/12

96	右段下から3行目	左心室の 等溶性 収縮によって	左心室の収縮によって	赤字部分を削除	18/04/12
98	左段上から10行目	大動脈 洞 には圧受容器が存在し、	大動脈 弓 には圧受容器が存在し、		18/04/12
98	左段上から19行目	頸動脈洞や大動脈 洞 の	頸動脈洞や大動脈 弓 の		18/04/12
98	左段下から11行目	大動脈 洞 の圧受容器からの	大動脈 弓 の圧受容器からの		18/04/12
第5章					
109	図2	咽頭隆起	喉頭隆起		18/08/17
112	右段上から8行目	胸腔内圧の陰圧が減り、	胸腔内圧の陰圧が減り、		18/04/12
第6章					
122	図1の腎臓の断面			腎盂をさす線の位置を3mm程右に訂正いたします	18/08/17
124	図2 (A) 腎臓の断面	(A) 腎臓の断面 拡大し、その中の1つのネフロンをBに示した 	(A) 腎臓の断面 拡大し、その中の1つのネフロンをBに示した 	腎盂をさす線の位置を3mm程右に訂正いたします	18/08/17
126	左段上から21行目	その部分には 密着斑 とよばれる	その部分には 緻密斑 とよばれる		18/04/12
126	左段上から28行目	(メザンギウム細胞 とよばれる)	(糸球体外メザンギウム細胞 とよばれる)		18/04/12
132	右段上から12行目	溶解度の低い物質が 沈殿 する	溶解度の低い物質が 結晶化 する		18/04/12
132	右段上から13行目	沈殿物 が細い尿管を	結石 が細い尿管を		18/04/12
第7章					
134	概略図 A)	外尿道	外尿道 口		18/04/12
135	左段下から9行目	28 4 日	28 0 日		18/04/12
第8章					
142	概略図	骨盤	寛骨		18/08/17
143	左段上から14行目	頭頂骨、蝶形骨、篩骨が	頭頂骨、 後頭骨 、蝶形骨、篩骨が		18/04/12
145	図2 成人の骨	頬突起	頬骨弓		18/04/12
148	左段下から2行目	仙骨の 峽角 から	仙骨の 岬角 から		18/06/28
150	左段上から5行目	気管軟骨、 咽頭軟骨 、	気管軟骨、 喉頭軟骨 、		18/04/12
第9章					
156	右段上から1行目	(下 腰筋、腸骨筋)が存在し、 下 腿を	(太 腰筋、腸骨筋)が存在し、 太 腿を		18/04/12
第10章					
173	表2 (左から2列目、下から4行目)	(ゴナドトロピン) ホルモン性腺刺激	(ゴナドトロピン) 性腺刺激ホルモン		18/08/17
178	図8			※2を参照	18/08/17
182	図16	破裂した卵胞	排卵		18/04/12

第11章				
189	左段上から8行目	もんざりがたはんのう 反応を 紋切型反応 という。	もんきりがたはんのう 反応を 紋切型反応 という。	「ぎ」→「き」にフリガナを訂正
191	図5			前障のさす線の位置を訂正いたします
193	図6 下部	緑 辺系	辺 縁系	
第12章				
208	Point2の1行目	電気信号に 変化 して	電気信号に 変換 して	
208	概略図 ②の説明 文3行目	神経系の信号に 交換 する)	神経系の信号に 変換 する)	
213	左段上から1行目	近眼視 では網膜より前に結像し, 遠眼視 では…	近視眼 では網膜より前に結像し, 遠視眼 では…	
213	右段上から7行目	その中に同 型 の 膜迷路 が収められ	その中に同 形 の 膜迷路 が収められ	
213	図5	近眼視	近視眼	
213	図5	遠眼視	遠視眼	

図表	
※1	<p>歯の本数がわかりづらいため、イラストを訂正いたします(歯は上下各16本となります)</p> 

※2

